

平成23年10月2日  
今週のベストショット



H23. 10. 2 青松園A 塩浜ジャガーズ 対 レッドサンデーズ戦  
レッド相手に1人のランナーも許さない完全試合を達成したジャガーズ内田耕司投手（写真左）。  
（写真：奈多クラブ 吉田貴史）

H23. 10. 2 奈多グラウンド 奈多フェニックス 対 三苦三球会戦  
強力な首位フェニックス打線を相手に、完封勝利の吉留投手。ウイニングボールを手に！！（写真右）  
（写真：三友クラブ 大坪和則）

**青松園A**

塩浜ジャガーズ	8 0 0 0 5	13	勝投手：内田	HR：なし
レッドサンデーズ	0 0 0 0 0	0	負投手：土師	HR：なし

初回ジャガーズは、1番稲富甚太選手が四球で出塁すると、そこから5連打にて5点を入れると、更に流れは止まらずエラーを絡め一挙に8点を先制。これで楽な展開となったジャガーズ先発の内田耕司投手はテンポよく投げる。さらにバックもそれ応え、サード稲富選手らの好守が光る。レッドサンデーズは、上手く捉えた打球が野手の正面をつく不運もあり一本が出ず苦しい流れ。五回表レッドは、またもやエラーが重なり5点を献上。その裏クリーンナップの攻撃で一矢を報いたいところであったが、最後まで内田投手を攻略出来ず完全試合を成立させてしまった。（記事：奈多クラブ 吉田貴史）



攻守で内田投手を盛り上げるジャガーズ稲富甚太三塁手。



見事に完全試合を達成したジャガーズ内田耕司投手の雄姿。

## 青松園B

ブルーマーリンズ 000000 0 負投手：友重 HR：なし  
新町ウインズ 010018× 10 勝投手：藤田 HR：桐島、城戸、藤田

初回Bマーリンズは、1番工藤翔平選手が四球で出塁するも後続が倒れ無得点。試合が動いたのは、二回裏ウインズの攻撃。6番泉圭祐選手の中前打、7番久保田茂昭選手の左前打で二・三塁とすると、8番大久保浩選手の打球が相手のエラーを誘い先制点をあげる。三回表、反撃したいBマーリンズだったが、藤田征司投手を前に三者連続三振。その後、五回表までお互い無得点が続くが、均衡を破ったのは五回裏ウインズ。8番大久保選手の左越え三塁打、続く9番藤田選手の左前で2点目が入る。続く六回裏ついに打線が爆発！4番桐島司選手の左越えHRを皮切りに、続く5名城戸和裕選手も左越えHR、678番の連続二塁打、そして、9番藤田選手のHRと、この回だけで8安打3HRを浴びせこールド。また、藤田投手はこの試合11奪三振と圧巻のピッチングだった。（記事：奈多サンデーズ 前田篤史）



ウインズ1イニング3発、1人目の桐島司選手。



ウインズ1イニング3発、2人目の城戸和裕選手。



ウインズ1イニング3発、3人目の藤田征司選手。  
ピッチングでも3安打完封。



懸命に伸びてアウトにしたブルーマーリンズ  
小柳訓敏一塁手。

## 奈多グラウンド

奈多フェニックス 000000 0 負投手：池見 HR：なし  
三苦三球会 11100× 3 勝投手：吉留 HR：なし

優勝を狙う上位チーム同士の対戦。もう1チームの奈多サンデーズの偵察者(?)が見守る中プレイボール。三球会は初回、エラーで出塁したランナーを4番澤田剛選手が遊撃手エラーを誘う強襲打を放ち、1点を先制する。二回にもエラーで出塁のランナーを、9番吉留隆久選手が右翼前適打を放ち1点追加。一方フェニックスは、四回まで相手の吉留投手を攻めることができず、0を並べる。チャンスは五回、先頭打者7番池見和彦選手が左前打で出塁。犠打やエラー、四球で一死満塁の大チャンス。打順は上位に回り、同点もしくは逆転かと思われたが、

吉留投手が踏ん張り、点を奪うことができなかった。六回にも二死一・三塁を作るが、後が続かず試合終了。この日のヒーローはもちろん投打に活躍の吉留投手。フェニックス打線を完封。すごいですね。三球会の勝利で優勝争いがよりし烈になりました。フェニックスは池見投手が3安打と当たっていただけに、その前に走者が出せていれば違った展開になっていたかもしれませんね。（記事：三友クラブ 山本健一、写真：大坪和則）



一回裏、三球会4番澤田剛選手の遊撃強襲先制打。



五回表、貴重な走者を進めるフェニックス8番今林誠選手のバント。



二回裏二死満塁、追加点のチャンスで三球会3番堺太一選手のバットは惜しくも空を切る。



五回表二死満塁のチャンスでフェニックス3番今林勇太選手に期待が掛るが、凡退に終わる。

## レクD

雁ノ巣ライナーズ	0 1 4 0 0 1 1	7	勝投手：今林(貢)	HR：浜崎×2
ソルトベイスターズ	1 0 0 0 0 0 0	1	負投手：中村(耕)	HR：なし

### 3試合連続&2打席連続本塁打！！ライナーズ濱崎和彦選手！！

試合は一回裏、ソルト先頭の中村健一選手の左翼線二塁打を三宅左翼手もたつく間に韋駄天ぶりを発揮して一気に生還。続く2番石井和人選手が中前打を放ちターボ全開で二塁を陥れビッグチャンス！と思われたが、後続が続かず1点止まり。するとライナーズは二回表、先頭の濱崎和彦選手が独特の手首の効いた打撃で中超越えHRでたちまち同点。三回にも一死から3連打で追加点を入れ、更に走者1塁に置いて再び濱崎選手が右翼線を襲う本塁打でこの回4点を取り試合の流れを呼び寄せた。ソルトは、毎回安打で出塁するもライナーズ今林貢投手の緩急を巧みに操った粘りの投球と、国崎豪士遊撃手の好守などに阻まれ得点することが出来ず。逆に終盤ライナーズが追加点を挙げて突き放した。濱崎選手は最近若手選手の加入などにより出番が減り始めていたが、ここに来てホームラン争いに参戦するようになると指揮官も選手起用で頭を悩ましそうダ～！

(記事：三苦ホーネッツ 堺叡生)



初回、左翼線に二塁打を打つソルト中村健一選手。



ソルト相手に好投を見せるライナーズ今林貢投手。



ソルト田中裕次郎選手の本塁突入を強烈なブロックで阻止するライナーズ奥原健太郎捕手。



ダブルプレーでピンチを切り抜けるライナーズの守備陣。



濱崎和彦選手のホームランを出迎えるライナーズベンチ。

## 第19週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

今週は気温が冷え込む中4試合が行われ、目玉が二つ！！

目玉第1弾は何と言っても『塩浜ジャガーズ内田耕司投手 完全試合達成！』でしょう。

＼(^◇^)\_／＼(\*^\*)／ おめでとうございます！

青松園Aでのジャガーズ対レッド戦は、ジャガーズ打線が初回先頭打者から9者連続出塁、8者連続得点で完全に流れを掴み、大記録を大きくアシスト。内田投手の力投に、球を受ける水流捕手も、守ってる野手も、ベンチも、エラー1つできない状況に手に汗握る思いをしたことでしょう。レッドナインも、よもや完全試合を達成されるとは思ってなかったようで苦笑いでした。今週の木玉第2弾は、そのレッドを1安打完封した三球会の吉留投手が投打に活躍して、全勝フェニックスに土を付けました。リーグを代表する絶対的先発完投型エース同士の戦いを目に焼き付けようと、私もビデオ片手に奈多グラウンドまで観に行きました（偵察者とは私のことです）。両投手ともいいピッチングでしたし、いいバッティングでした。敗れはしたもののフェニックス池見投手はチーム全安打の3打数3安打ですし、吉留投手も2打数2安打です。フェニックスは後半バテ気味の吉留投手を攻めて五・六回とランナーを溜めたものの、今年40歳の右腕がここ一番で力を出し切りましたね。青松園Bのブルーマーリンズ対ウインズは、途中まで接戦でしたが、六回裏ウインズが6者連続長打を含む8安打8得点を挙げコールド勝ち。雁レクDのライナーズ対ソルトベイスターズ戦は、ソルトに先制を許すものの、今年44歳の濱崎和彦選手の3試合連続・2打席連続の4号HRの活躍もあり逆転で勝利を収めました。

今年は既に完全試合1、ノーヒットノーラン2が出ています。年末の納会での表彰が楽しみです。その表彰に花を飾るためにも各投手勝ち星を重ねたいところです。

さあ、全勝のフェニックスが敗れて1敗でフェニックス・奈多サンデーズ・三球会が横一線で並び、1敗1分けでホーネッツが追うという構図に変わりました。

来週は運動会のため全試合お休みで、10月16日から再開されます。

10月16日の対戦は、

どちらが優勝戦線に踏み止まれるか？三球会对ホーネッツ。

濱崎選手の4戦連発はあるか？はたまた完全試合男の内田投手が抑えるか？ジャガーズ対ライナーズ。

和白新町ダービー、パイレーツ対ウインズ。

首位タイの奈多サンデーズ対どこまで食い下がるか？最下位ブルーマーリンズ。